



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月10日

東

上場会社名 アイフル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8515 URL <https://www.aiful.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 光秀
 問合せ先責任者 (役職名) 経営計画部長 (氏名) 阿部 育生 TEL 03-4503-6050
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	159,709	13.7	27,772	47.5	28,210	42.8	22,474	50.8
2025年3月期第3四半期	140,512	15.6	18,826	22.4	19,758	22.1	14,903	3.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 22,427百万円(△51.3%) 2025年3月期第3四半期 14,824百万円(△2.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	46.93	—
2025年3月期第3四半期	31.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	1,605,581	240,313	14.8
2025年3月期	1,448,451	221,396	15.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 236,845百万円 2025年3月期 217,923百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 1.00	円 銭 1.00
2026年3月期	—	6.00	—	—	6.00
2026年3月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	213,500	12.9	32,300	27.7	33,000	23.1	27,600	57.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

A G ソリューションテクノロジー株式会
社、セブンシーズ株式会社、株式会社 L

新規 6社 (社名) i b l o c k 、株式会社セイロップ、株、除外 一社 (社名)
式会社テンプレイト、スマートリンク株
式会社

(注) 当第3四半期連結累計期間より、上記6社を連結の範囲に含めております。詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期 3Q	484,620,136株	2025年3月期	484,620,136株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	5,623,677株	2025年3月期	5,789,904株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期 3Q	478,928,746株	2025年3月期 3Q	480,318,276株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	1
(1)	経営成績に関する説明	1
(2)	キャッシュ・フローの状況	3
(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1)	四半期連結貸借対照表	4
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	6
	第3四半期連結累計期間	6
	四半期連結包括利益計算書	7
	第3四半期連結累計期間	7
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
	(継続企業の前提に関する注記)	10
	(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
	(表示方法の変更)	10
	(四半期連結損益計算書関係)	11
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
	(企業結合等関係)	13
	(セグメント情報等の注記)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻くノンバンク業界においては、活況な資金ニーズを背景として消費者向けローン事業の新規成約件数や営業貸付金残高は堅調に推移しております。また、利息返還請求については、外部環境の変化等の影響を受けやすく、一定の留意は必要なものの、着実に減少しております。

このような環境のもと、当社グループは、2027年3月期を最終年とする中期経営計画の達成に向け、ローン事業や信用保証事業、クレジット事業といった主力事業の残高成長やコスト構造改革によるグループ全体の利益水準の向上に努めております。また、あらたな成長ステージに向けて、成長率の高い事業やM&Aに投資し、更なる企業価値の向上を実現してまいります。

前連結会計年度まで非連結子会社であったAGソリューションテクノロジー株式会社、セブンシーズ株式会社、株式会社L i b l o c k 、株式会社セイロップは、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間の期首より連結の範囲に含めております。また、2025年5月1日付で株式会社テンプレイト、2025年6月20日付でスマートリンク株式会社の全株式を取得し、いずれも2025年6月30日をみなし取得日として、中間連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(業績の概況)

当第3四半期連結累計期間における当社グループの営業収益は159,709百万円（前年同期比13.7%増）となりました。その主な内訳といしましては、営業貸付金利息が88,239百万円（前年同期比11.0%増）、包括信用購入あっせん収益が17,775百万円（前年同期比4.1%増）、信用保証収益が17,760百万円（前年同期比11.4%増）となっております。

営業費用は、131,936百万円（前年同期比8.4%増）となりました。その主な要因といしましては、金融費用が9,059百万円（前年同期比32.8%増）、システム・エンジニアリング・サービス事業（以下、「SES事業」といいます。）を営む連結子会社の増加により売上原価が1,859百万円（前年同期比736.4%増）となったことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの営業利益は27,772百万円（前年同期比47.5%増）、経常利益は28,210百万円（前年同期比42.8%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用5,500百万円を計上した結果、22,474百万円（前年同期比50.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(アイフル株式会社)

[ローン事業]

テレビCM等によるブランディングの強化やWEB広告を中心とした効果的かつ効率的な広告戦略により新規顧客の獲得強化を推進しております。また、社内エンジニアによるデジタル分野の内製化により公式サイトやスマホアプリ、申込フォームの改善等、顧客ニーズに応じたスピーディな対応を実現し、UI／UXの強化、顧客満足度の向上に継続的に取り組んでおります。

その結果、当第3四半期連結会計期間末における個人向け無担保ローンの営業貸付金残高は632,334百万円（前期末比5.7%増）、有担保ローンの営業貸付金残高は1,099百万円（前期末比20.6%減）、事業者向け無担保ローンの営業貸付金残高は16,660百万円（前期末比12.1%増）、ローン事業全体の営業貸付金残高は650,094百万円（前期末比5.8%増）となりました（債権の流動化によりオフバランスとなった営業貸付金616百万円が含まれております。）。

また、当第3四半期連結累計期間における当社の個人向け無担保ローン新規成約件数は22万9千件（前年同期比7.3%減）、成約率は31.0%（前年同期比3.2ポイント減）となりました。

〔信用保証事業〕

個人及び事業者の与信ノウハウや独立系の強みを活かし、保証残高拡大に向けた商品の多様化や新規保証提携の推進に取り組んでおります。

その結果、当第3四半期連結会計期間末における個人向けローンの支払承諾見返残高は247,808百万円（前期末比27.1%増）、事業者向けローンの支払承諾見返残高は79,875百万円（前期末比14.8%増）となりました。

なお、事業者向けローンの支払承諾見返残高のうち、2百万円はリース保証によるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社の営業収益は90,498百万円（前年同期比10.5%増）、営業利益は20,161百万円（前年同期比46.3%増）、経常利益は24,750百万円（前年同期比44.3%増）、四半期純利益は21,342百万円（前年同期比63.1%増）となりました。

(ライフカード株式会社)

〔クレジット事業（包括信用購入あっせん事業）〕

新規タイアップカードの発行、お客様のニーズに応じたアプリ機能の拡充や改善により新規会員の獲得および稼働会員数の増加に努めております。

その結果、当第3四半期連結累計期間における取扱高は604,435百万円（前年同期比4.6%増）、当第3四半期連結会計期間末におけるクレジット事業に係る割賦売掛金残高は124,173百万円（前期末比7.5%増）となりました（債権の流動化によりオフバランスとなった割賦売掛け金6,931百万円が含まれております。）。

〔カードキャッシング事業〕

当第3四半期連結会計期間末のカードキャッシング事業における営業貸付金残高は21,366百万円（前期末比1.8%減）となりました（債権の流動化によりオフバランスとなった営業貸付金1,538百万円が含まれております。）。

〔信用保証事業〕

当第3四半期連結会計期間末における個人向け無担保ローンの支払承諾見返残高は25,895百万円（前期末比4.3%減）、事業者向けローンの支払承諾見返残高は1,925百万円（前期末比3.7%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるライフカード株式会社の営業収益は30,049百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は540百万円（前年同期比34.1%減）、経常利益は713百万円（前年同期比21.7%減）、四半期純利益は331百万円（前年同期比69.1%減）となりました。

(その他)

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントに含まれない連結子会社14社（AIRA & AIFUL Public Company Limited、AGビジネスサポート株式会社、AG債権回収株式会社、AGキャピタル株式会社、AGペイメントサービス株式会社、AGメディカル株式会社、株式会社F P C、ビットキャッシュ株式会社、AGソリューションテクノロジー株式会社、セブンシーズ株式会社、株式会社L i b l o c k、株式会社セイロップ、株式会社テンプレイト、スマートリンク株式会社）の営業収益は39,802百万円（前年同期比32.7%増）、営業利益は4,839百万円（前年同期比108.2%増）、経常利益は4,893百万円（前年同期比108.7%増）、四半期純利益は3,371百万円（前年同期比139.3%増）となりました。

なお、S E S事業を営む連結子会社の増加により営業収益は、その他の営業収益に含まれるソフトウェア開発売上高が1,705百万円、営業費用は売上原価に含まれるソフトウェア開発売上原価が1,460百万円それぞれ増加しております。

(財政状態)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ157,130百万円増加の1,605,581百万円（前期末比10.8%増）となりました。増加の主な要因は、営業貸付金53,598百万円、割賦売掛金26,558百万円、無形固定資産3,180百万円の増加によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ138,213百万円増加の1,365,268百万円（前期末比11.3%増）となりました。増加の主な要因は、金融機関からの借入れによる増加によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ18,916百万円増加の240,313百万円（前期末比8.5%増）となりました。増加の主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べ2,123百万円増加の58,052百万円（前期末比3.8%増）となりました。当第3四半期連結累計期間における、各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは49,306百万円の支出（前年同期比22.4%減）となりました。これは主に、営業貸付金や割賦売掛金の債権の増加による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは5,267百万円の支出（前年同期比66.4%減）となりました。これは主に、無形固定資産及び投資有価証券の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは55,860百万円の収入（前年同期比32.1%減）となりました。これは主に、借入金による収入が返済による支出を上回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の当社グループの業績予想につきましては、2025年11月11日に公表いたしました予想から変更はありません。なお、本業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づく見通しであり、現状の当社を取り巻く事業環境は様々なリスクが存在し、最終の業績は予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	60,608	58,086
営業貸付金	785,674	839,272
割賦売掛金	197,300	223,858
営業投資有価証券	3,361	3,045
支払承諾見返	303,943	366,050
その他営業債権	19,376	21,344
買取債権	9,877	9,307
未収入金	18,090	21,528
その他	28,723	39,715
貸倒引当金	△90,017	△92,735
流动資産合計	1,336,938	1,489,474
固定資産		
有形固定資産	34,154	33,211
無形固定資産		
のれん	9,707	10,050
その他	19,795	22,633
無形固定資産合計	29,502	32,683
投資その他の資産	47,855	50,211
固定資産合計	111,512	116,107
資産合計	1,448,451	1,605,581
負債の部		
流动負債		
支払手形及び買掛金	60,961	73,140
支払承諾	303,943	366,050
短期借入金	84,894	128,069
関係会社短期借入金	488	271
コマーシャル・ペーパー	17,400	25,000
1年内償還予定の社債	15,000	15,000
1年内返済予定の長期借入金	252,042	252,615
未払法人税等	4,171	3,917
引当金	1,929	965
その他	48,639	56,815
流动負債合計	789,470	921,846
固定負債		
社債	95,000	105,000
長期借入金	324,792	322,987
退職給付に係る負債	75	116
繰延税金負債	343	539
利息返還損失引当金	8,772	6,998
役員退職慰労引当金	—	41
保険契約準備金	1,868	2,041
その他	6,732	5,698
固定負債合計	437,584	443,421
負債合計	1,227,054	1,365,268

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	94,028	94,028
資本剰余金	14,017	14,017
利益剰余金	112,319	131,153
自己株式	△4,541	△4,410
株主資本合計	215,824	234,788
その他他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	813	785
為替換算調整勘定	1,285	1,271
その他他の包括利益累計額合計	2,098	2,056
非支配株主持分	3,473	3,468
純資産合計	221,396	240,313
負債純資産合計	1,448,451	1,605,581

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業収益		
営業貸付金利息	79,461	88,239
包括信用購入あっせん収益	17,082	17,775
個別信用購入あっせん収益	5,215	6,828
信用保証収益	15,949	17,760
その他の金融収益	13	73
保険収益	3,501	5,225
受取手数料	4,896	6,927
その他の営業収益	14,392	16,878
営業収益合計	140,512	159,709
営業費用		
金融費用	6,824	9,059
売上原価	222	1,859
保険費用	2,622	4,841
その他の営業費用	112,017	116,176
営業費用合計	121,686	131,936
営業利益		
営業外収益	18,826	27,772
受取配当金	29	33
持分法による投資利益	79	115
不動産賃貸料	73	106
その他	770	216
営業外収益合計	954	471
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	2	7
その他	20	26
営業外費用合計	22	34
経常利益		
特別損失		
貸倒損失	423	—
減損損失	1,582	—
固定資産除却損	—	69
事業構造改善費用	—	154
その他	—	2
特別損失合計	2,005	226
税金等調整前四半期純利益		
法人税、住民税及び事業税	3,865	6,510
法人税等調整額	△474	△1,010
法人税等合計	3,391	5,500
四半期純利益	14,360	22,483
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△542	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,903	22,474

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	14,360	22,483
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	△27
為替換算調整勘定	429	△29
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	463	△56
四半期包括利益	14,824	22,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,151	22,432
非支配株主に係る四半期包括利益	△326	△5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	17,752	27,984
減価償却費	3,122	3,897
のれん償却額	535	894
保険契約準備金の増減額（△は減少）	△94	173
減損損失	1,582	—
貸倒引当金の増減額（△は減少）	4,900	1,569
賞与引当金の増減額（△は減少）	△726	△966
株式給付引当金の増減額（△は減少）	△5	△12
利息返還損失引当金の増減額（△は減少）	△2,400	△1,773
受取利息及び受取配当金	△86	△117
為替差損益（△は益）	△650	△7
持分法による投資損益（△は益）	△79	△115
営業貸付金の増減額（△は増加）	△47,080	△53,820
割賦売掛金の増減額（△は増加）	△26,574	△26,558
その他営業債権の増減額（△は増加）	△1,946	△1,967
未収入金の増減額（△は増加）	10,164	△3,566
預り金の増減額（△は減少）	△6,855	2,856
買取債権の増減額（△は増加）	△449	569
破産更生債権等の増減額（△は増加）	1,061	1,138
営業保証金等の増減額（△は増加）	1,350	—
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△5,419	△10,341
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△4,316	16,707
その他	△2,029	470
小計	△58,246	△42,988
利息及び配当金の受取額	107	138
法人税等の還付額	84	39
法人税等の支払額	△5,479	△6,496
営業活動によるキャッシュ・フロー	△63,534	△49,306
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,650	—
定期預金の払戻による収入	4,949	4,646
有形固定資産の取得による支出	△428	△874
無形固定資産の取得による支出	△5,632	△4,716
投資有価証券の取得による支出	△1,003	△2,592
長期貸付けによる支出	△2,112	△1,489
長期貸付金の回収による収入	210	120
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△6,759	△220
その他	△268	△140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,695	△5,267

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,697,975	2,114,743
短期借入金の返済による支出	△1,713,074	△2,071,671
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	204,800	181,400
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	△169,800	△173,800
長期借入れによる収入	265,710	209,831
長期借入金の返済による支出	△200,470	△211,113
社債の発行による収入	30,000	25,000
社債の償還による支出	△30,000	△15,000
配当金の支払額	△483	△3,352
自己株式の取得による支出	△2,000	△0
その他	△399	△176
財務活動によるキャッシュ・フロー	82,257	55,860
現金及び現金同等物に係る換算差額	62	50
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,091	1,337
現金及び現金同等物の期首残高	51,934	55,928
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	2,086	786
現金及び現金同等物の四半期末残高	57,111	58,052

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

前連結会計年度まで非連結子会社であったAGソリューションテクノロジー株式会社、セブンシーズ株式会社、株式会社L i b l o c k 、株式会社セイロップは、重要性が増したため第1四半期連結会計期間の期首より連結の範囲に含めております。

また、中間連結会計期間において、2025年5月1日付で株式会社テンプレイト、2025年6月20日付でスマートリンク株式会社の全株式を取得したことにより連結の範囲に含めております。なお、2025年6月30日をみなし取得日としております。

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において、「固定負債」の「その他」に含めていた「退職給付に係る負債」は、重要性が増したため、当第3四半期連結会計期間より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結財務諸表において、「固定負債」の「その他」に表示していた6,808百万円は、「退職給付に係る負債」75百万円、「その他」6,732百万円として組み替えております。

また、前連結会計年度において、「固定負債」の「その他」に含めていた「繰延税金負債」は、重要性が増したため、当第3四半期連結会計期間より独立掲記することとしております。

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「不動産賃貸料」は、営業外収益の総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間より独立掲記することとしております。

また、前第3四半期連結累計期間において独立掲記しておりました「為替差益」は、営業外収益の総額の100分の20以下となったため、「営業外収益」の「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の連結財務諸表において、「為替差益」634百万円、「営業外収益」の「その他」に表示していた209百万円は、「不動産賃貸料」73百万円、「その他」770百万円として組み替えております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他の流動負債の増減額（△は減少）」に含めていた「預り金の増減（△は減少）」は、金額的重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他の流動負債の増減額（△は減少）」に表示していた△11,172百万円は、「預り金の増減（△は減少）」△6,855百万円、「その他の流動負債の増減額（△は減少）」△4,316百万円として組み替えております。

前第3四半期連結会計期間において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「長期貸付けによる支出」「長期貸付金の回収による収入」は、金額的重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フロー計算書において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた△2,170百万円は、「長期貸付けによる支出」△2,112百万円、「長期貸付金の回収による収入」210百万円、「その他」△268百万円として組み替えております。

(四半期連結損益計算書関係)

(貸倒損失)

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

当第3四半期連結累計期間において、当社で発生したフィッシング詐欺により生じた損失額を特別損失に計上しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

該当事項はありません。

(減損損失)

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

場所	用途	種類	減損損失
アイフル株式会社 本社	金融事業用資産	ソフトウェア仮勘定	1,582百万円

当社グループは、金融事業につきましては各事業会社をグルーピングの最小単位としております。

上記の金融事業用資産について、一部のサービスのために進めていたシステム開発において、開発方針の見直しの意思決定がなされたため、当該システム開発に係るソフトウェア仮勘定について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該資産の回収可能価額は使用価値を零として算定しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

該当事項はありません。

(事業構造改善費用)

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

海外子会社において人員の適正化を実施した結果発生した特別退職金等を、事業構造改善費用として計上しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年5月10日 取締役会	普通株式	483	1.00	2024年3月31日	2024年6月6日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2024年7月8日開催の取締役会決議に基づき、2024年7月29日付で、譲渡制限付株式報酬による自己株式145,894株の処分を行っております。当該自己株式の処分により、その他資本剰余金が58百万円、自己株式が114百万円減少しております。なお、その他資本剰余金の残高が負の値となったため、その他資本剰余金を零とし、当該負の値をその他利益剰余金から減額しております。

2024年5月27日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において、自己株式5,151,200株の取得を行い、自己株式が1,999百万円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の利益剰余金の残高は104,706百万円、自己株式の残高は4,541百万円となっております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年5月9日 取締役会	普通株式	478	1.00	2025年3月31日	2025年6月5日	利益剰余金

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年11月11日 取締役会	普通株式	2,872	6.00	2025年9月30日	2025年12月5日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2025年6月30日開催の取締役会決議に基づき、2025年7月22日付で、譲渡制限付株式報酬による自己株式166,261株の処分を行っております。当該自己株式の処分により、その他資本剰余金が60百万円、自己株式が130百万円減少しております。なお、その他資本剰余金の残高が負の値となったため、その他資本剰余金を零とし、当該負の値をその他利益剰余金から減額しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の利益剰余金の残高は131,153百万円、自己株式の残高は4,410百万円となっております。

(企業結合等関係)

(株式取得による企業結合)

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称：株式会社テンプレイト

事業の内容：システム・エンジニアリング・サービス事業

(2) 企業結合を行う主な理由

株式会社テンプレイトは、金融・行政系の基幹システムで依然として多用されるCOBOL言語や保険業務知識を身に着けたITエンジニアが多く在籍しております。株式会社テンプレイトが有する長年培ってきたノウハウや豊富な取引実績は、当社グループのシステム内製化に寄与するものと考えております。

(3) 企業結合日

2025年5月1日（株式取得日）

2025年6月30日（みなし取得日）

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません。

(6) 取得した議決権比率

取得後の議決権比率 100.0%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものであります。

2. 当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2025年7月1日から2025年12月31日まで

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	205百万円
取得原価		205百万円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

127百万円

(2) 発生原因

主として今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力であります。

(3) 債却方法及び償却期間

7年にわたる均等償却

(株式取得による企業結合)

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称：スマートリンク株式会社

事業の内容：システム・エンジニアリング・サービス事業

(2) 企業結合を行う主な理由

スマートリンク株式会社は、参入障壁の高いクレジットカードシステムにおける豊富な経験・知識を有する人材が在籍しております。スマートリンク株式会社が有する長年培ってきたノウハウや豊富な取引実績は、当社グループのシステム内製化に寄与するものと考えております。

(3) 企業結合日

2025年6月20日（株式取得日）

2025年6月30日（みなし取得日）

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません。

(6) 取得した議決権比率

取得後の議決権比率 100.0%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものであります。

2. 当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2025年7月1日から2025年12月31日まで

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	179百万円
取得原価		179百万円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

153百万円

(2) 発生原因

主として今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力であります。

(3) 債却方法及び償却期間

6年にわたる均等償却

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	アイフル 株式会社	ライフカード 株式会社	計		
営業収益					
外部顧客からの営業収益	81,875	28,703	110,579	29,933	140,512
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	20	259	279	61	341
計	81,895	28,963	110,859	29,994	140,854
セグメント利益	13,087	1,072	14,160	1,408	15,569

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、AGビジネスサポート株式会社及びAG債権回収株式会社等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	14,160
「その他」の区分の利益	1,408
セグメント間取引消去	△422
その他の調整額	△243
四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益	14,903

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間の「アイフル株式会社」セグメントにおいて、減損損失1,582百万円を計上しております。

減損損失の詳細については、「2 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結損益計算書関係)」をご参照ください。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間の「その他」の区分において、前連結会計年度まで持分法適用非連結子会社であった株式会社F P Cの連結子会社化および2024年6月28日付でビットキャッシュ株式会社の株式を取得したことにより、のれん9,947百万円を計上しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	アイフル 株式会社	ライフカード 株式会社	計		
営業収益					
外部顧客からの営業収益	90,459	29,795	120,255	39,454	159,709
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	39	253	292	348	640
計	90,498	30,049	120,547	39,802	160,350
セグメント利益	21,342	331	21,674	3,371	25,045

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、AGビジネスサポート株式会社及びAG債権回収株式会社等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	21,674
「その他」の区分の利益	3,371
セグメント間取引消去	△1,589
その他の調整額	△982
四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益	22,474

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、セブンシーズ株式会社、株式会社L i b l o c k、株式会社セイロップを第1四半期連結会計期間の期首より連結の範囲に含め、また、2025年5月1日付で株式会社テンプレイト、2025年6月20日付でスマートリンク株式会社の全株式を取得し、いずれも2025年6月30日をみなし取得日として、中間連結会計期間より連結の範囲に含めたことにより、のれんが1,062百万円増加しております。